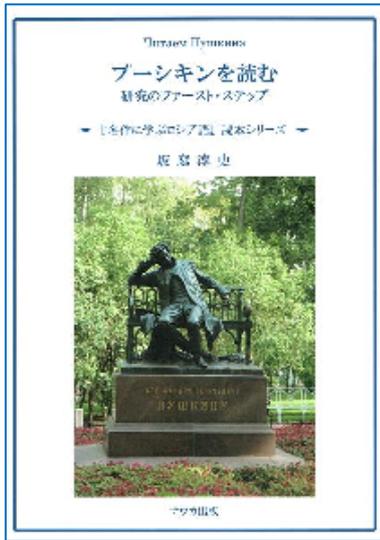


新刊のご案内

坂庭淳史著「プーシキンを読む 研究のファースト・ステップ」



Читаем Пушкина

(『名作に学ぶロシア語』読本シリーズ) [ナウカ出版]

2014年4月15日発売

B5判並製 92頁 ISBN978-4-904059-10-4
朗読CD1枚つき 価格 2,500円(本体価格)

テキスト朗読：ナターリヤ・イワノワ

ロシアが生んだもっとも偉大な詩人、そしてロシア近代文学の創始者でもあるプーシキン。そのプーシキンが著した『青銅の騎士』、『オネーギン』、『金の鶏の話』、『ボリス・ゴドゥノフ』、『スペードのクイーン』、『大尉の娘』…。詩、物語詩、韻文小説、民話詩、劇詩、小説、それらすべてのジャンルから著者が厳選した傑作選で、本文は原文テキスト、単語帳、日本語訳、そして詳しい解説より構成されます。

国民詩人の全貌がわかるとともに、プーシキンをより深く味わうための読解本、「プーシキン研究のファースト・ステップ」とも言えるのが本書『プーシキンを読む』です。

著者まえがき (「はじめに：ロシア語／プーシキンを学ぶ」) より

「<…>プーシキンの創作の魅力はどこにあるのでしょうか？ 愛、優しさ、勇気、生命／自由への思慕、率直さ… 皆さんそれぞれに答えを見つけてみてください。また、プーシキンほど時代や社会にコミットし、振り回された文学者はいません。ナポレオン戦争(1812)やアレクサンドル1世の死／デカブリストの乱(1825)、ニコライ1世との関係など、歴史的背景もあわせて考えれば、作品の理解はさらに深まることでしょう。ロシアの芸術家たちは何らかの形でプーシキンを意識し、彼とつながっています。プーシキンの創作を通して、ロシアの芸術／文化／精神を読みとく鍵が見つかるかもしれません。<…>」

著者紹介

坂庭 淳史 早稲田大学文学学術院准教授。専攻は19世紀ロシア詩・思想。おもな著書に『フォードル・チュツチェフ研究—19世紀ロシアの「自己意識」』(マニュアルハウス、2007年)、『日本文学—ロシア人はどう読んでいるか』(東洋書店、2013年)。訳書にアルセーニー・タルコフスキー『雪が降るまえに』(鳥影社、2007年)、ソルジェニーツィン『廃墟のなかのロシア』(共訳、草思社、2000年)。

好評『名作に学ぶロシア語』読本シリーズ：今回新刊の「プーシキンを読む」、好評既刊「ゴーゴリ『鼻』全文読解」、「『アンナ・カレーニナ』を読む」につづき、チェーホフ、ドストエフスキーなどを取り上げ、続巻刊行予定。

ご注文は生協・書店またはナウカ出版へ

〒354-0024 埼玉県富士見市鶴瀬東2-18-32, 2-108

email : kniga@naukapub.jp URL: <http://www.naukapub.jp> Tel & Fax: 049-293-5565

注文書 貴店名 (取次様番線・書店様コード)	坂庭淳史著 プーシキンを読む (CD1枚つき) ISBN 978-4-904059-10-4	¥2,500 (本体価格)	冊	新刊
ご担当 () 様	井上幸義著 ゴーゴリ『鼻』全文読解 (CD1枚つき) ISBN 978-4-904059-07-4	¥2,800 (本体価格)	冊	既刊
	望月哲男著 『アンナ・カレーニナ』を読む (CD1枚つき) ISBN 978-4-904059-09-8	¥2,400 (本体価格)	冊	既刊

(版元：ナウカ出版)